

ロボット関連の平成28年度予算概算要求について

	導入実証段階	市場化技術開発段階	次世代技術開発段階
ものづくり・サービス業等分野	ロボット導入実証事業【経産省】(30.0億円)	ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト【経産省】(15.0億円)	次世代人工知能・ロボット中核技術開発【経産省】(30.6億円)
介護・医療分野	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業【厚労省】(1.1億円)	ロボット介護機器開発・導入促進事業【経産省】(20.0億円)	
	介護ロボット開発加速化事業【厚労省】(5.0億円)	未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業【経産省】(51.1億円※ ¹)	
	次世代医療機器審査指標等整備事業【厚労省】(0.4億円)		
	革新的医療機器相談承認申請支援事業【厚労省】(0.2億円)		
	障害者自立支援機器等開発促進事業【厚労省】(1.6億円)		
農林水産業・食品産業分野	農林水産業におけるロボット技術導入実証事業【農水省】(9.0億円)	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(ロボット研究開発型)【農水省】(6.0億円)	SIP: 次世代農林水産業創造技術のうち、農作業管理を自動化・知能化するスマート農業を実現するための研究開発【内閣府】(500億円の内数)
インフラ・災害対応分野	次世代社会インフラ用ロボット開発・導入の推進【国交省】(1.9億円)	インフラ維持管理・更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト【経産省】(19.3億円※ ¹)	SIP: インフラ維持管理・更新・マネジメント技術のうち維持管理ロボット・災害対応ロボットの研究開発【内閣府】(500億円の内数)
	イノベーション・コースト構想(ロボットテストフィールド・研究開発拠点等整備事業)【経産省】(事項要求)		エネルギー・産業基盤災害対応のための消防ロボットの研究開発【総務省】(2.9億円)
その他・次世代基盤技術	こうのとりによる遠隔制御輸送船【文科省】(④)	自律型モビリティシステム(自動走行技術、自動制御技術等)の開発・実証【総務省】(17.5億円の内数)	AIP: Advanced Integrated Intelligence Platform Project 人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト【文科省】(100億円)(⑥)
	日本独自の宇宙ロボットアーム技術【文科省】(④)		戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)【総務省】(18.3億円の内数)
	大深度遠隔操作無人探査機(ROV)の高度化【文科省】(⑤)		SIP: 次世代海洋資源調査技術のうち自律型無人探査機の複数機同時運用手法、遠隔操作型無人探査機の高効率海中作業システム等の開発【内閣府】(500億円の内数)
	28年度新規	28年度継続・拡充	各省連携して実施している事項
	全体予算額: 294.1億円 + α^{※2}		
	<small>※1 ロボット関連予算として全体額を計上。一部にロボット以外のプロジェクトを含む</small> <small>※2 内数表記の予算額は足しあげず、+αとして示した。</small>		
	注: この他、「革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)【内閣府】」においても事業実施。(25年度補正予算により基金化済)		
	<small>(①) 科学技術振興機構運営費交付金の内数 (②) 理化学研究所運営費交付金の内数 (③) 国立大学法人運営費交付金(国立情報学研究所)の内数 (④) 国際宇宙ステーション開発費補助金の内数 (⑤) 海洋研究開発機構運営費交付金の内数 (⑥) 科学技術振興機構運営費交付金を含む</small>		
			大学発新産業創出プログラム(START)の一部【文科省】(①)
			人間と調和した創造的協働を実現する知的情報処理システムの構築【文科省】(①)
			石黒共生ヒューマンロボットインタラクションプロジェクト【文科省】(①)
			理研 BSI - トヨタ連携センター【文科省】(②)
			ロボットは東大に入れるかプロジェクト【文科省】(③)
			自律型無人探査機(AUV)の高度化【文科省】(⑤)